

温もりを届けたい、手からこころへ.....

たまちゃん通信 60号

2014

平成26年12月 - 1

今月の情報



E-mail: honbu@otedama.jp
●お問い合わせなどメールをご利用ください

日本のお手玉の会本部
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号



http://www.otedama.jp
●たまちゃん通信はホームページに掲載



TEL : 0897-32-0302



FAX : 0897-32-0311

長野県こども新聞コンクールで入賞を果たす

篠田智子ちゃん (小学6年・飯田市) の「おしなご新聞」



長野県飯田市丸山小学校6年の篠田智子ちゃんが編集した「おしなご新聞」が、長野県こども新聞コンクール第15回飯田下伊那地区大会で、1,268点の応募作品の中から、見事、入選(5、6年の部)に選ばれ、平成26年9月23日、信濃毎日新聞社から表彰されました。

智子ちゃんの「おしなご新聞」は、A3の大きさで、カラー印刷。「お手玉の歴史」、「お手玉を作った!」、「両手うち(ジャグリング)」の3部作になっています。「おしなご」は、飯田の方言で「お手玉」のことです。

「お手玉の歴史」には、4千年前の古代エジプト文明時代にさかのぼること。世界で最も古いお手玉は羊の骨で、3千年前のものが黒海周辺の遊牧民の遺跡から見つかったこと。日本には奈良時代に伝わってきたことなどが紹介されています。

「お手玉を作った!」には、飯田名産の干し柿の形をしたお手玉を作ったこと。伝統的なかます型、たわら型、ざぶとん型や、水引を使ったお手玉などを紹介。音がするお手玉の中身や、材料を紹介し、1個作るのに1時間かかったこと。その楽しさ、幸せも書いている。

「両手うち(ジャグリング)」には、お手玉の遊び方を紹介。投げ玉遊びや、寄せ玉遊びが、具体的に書かれていて説明どおりにやればきつとうまくいくと思う。いろんな技に挑戦したいと結んでいる。

篠田智子ちゃんは、日本のお手玉の会理事で、信州おしなごの会会長の篠田啓子さんのお孫さんです。

智子ちゃん入賞おめでとございます。 事務局